

㊤ 草木染め

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・身近にある草の葉や根、木の枝や皮・実などで布や糸をいろいろな色に染めることができること

2 実施時期：4月～12月頃まで

3 実施場所：家庭科室

4 対象学年：中学年～高学年

5 関連教科：総合、家庭科

6 時数：2時限～3時限

7 事前準備

- ・草や木の葉や実などの準備

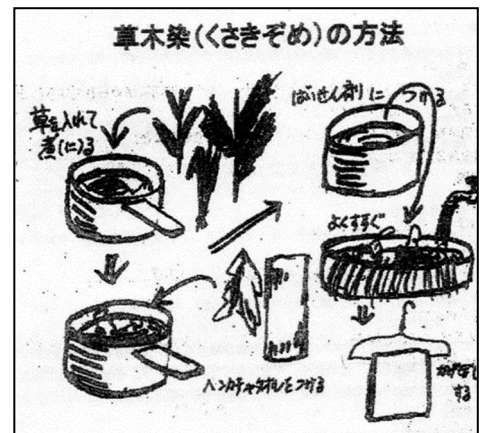
8 当日

（1）準備する材料や道具

学校：水場・火口のある教室、大きな鍋、ボール、ざる

児童：白の毛糸やハンカチ（一括購入が望ましい）、ゴム手袋

どんぐりクラブ：寸胴鍋等器具、媒染剤（ミョウバン・木酢酸鉄）



＜草木染めの手順＞

（2）授業の流れ

① あいさつ

② 草木染めについてと作業の説明

③ 染液作り

④ 布・糸の下準備

- ・ハンカチの場合は絞りを入れる。（小石や小豆などを輪ゴムで縛る）

- ・毛糸は直径10cmぐらいの円状にまとめる

⑤ 染めの作業

⑥ 媒染液に浸す

⑦ 水洗い及び乾燥

⑧ 終わりのあいさつ



＜草木染めの作業＞

9 備考

- ・材料は、どんぐり、コナラや桜の枝、ヨモギ、コセンダングサ、セイタカアワダチソウ、玉ねぎの皮など、どこにでもあるもの。草木の採集から取り組む場合は、当日までに校庭や河原などで採集しておく。
- ・媒染剤のミョウバンは食品添加物、木酢酸鉄は木を燃やしたときの煙を集めて濃縮した木酢液に鉄を溶かしたもので安全である。
- ・草木染めは動物性たんぱく質を含んでいる素材（絹、毛）がよく染まる。
- ・一般的な草木染めではあまり鮮やかな色合いは望めない。
- ・市販藍染液で比較的簡単に藍染体験ができる。
- ・8月頃に藍の生葉が用意できれば、藍の生葉を直接布にこすりつける方法もある。